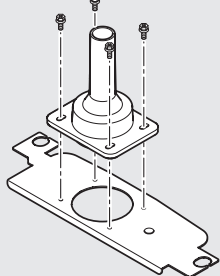


8.手洗器・水栓金具

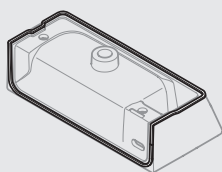
手洗器なしの場合はP.60へ

1 排水ソケットの 組み付け



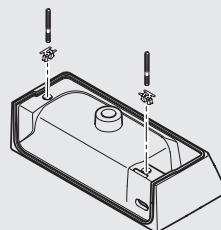
▶ P.54

2 クッション材の 張り付け



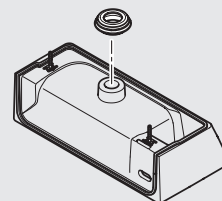
▶ P.54

3 手洗器の組み立て



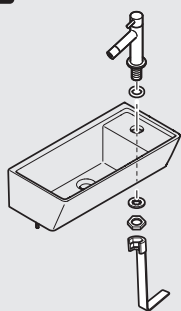
▶ P.55

4 パッキン(排水口) の取り付け



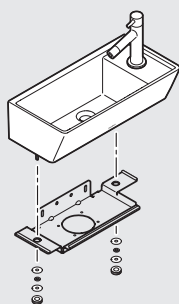
▶ P.55

5 水栓金具の取り付け



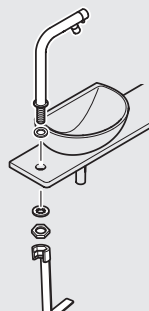
▶ P.56

6 手洗器の取り付け



▶ P.57

7 水栓金具の取り付け

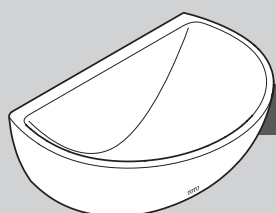


▶ P.59

手洗器の種類と、手順を確認して施工してください。

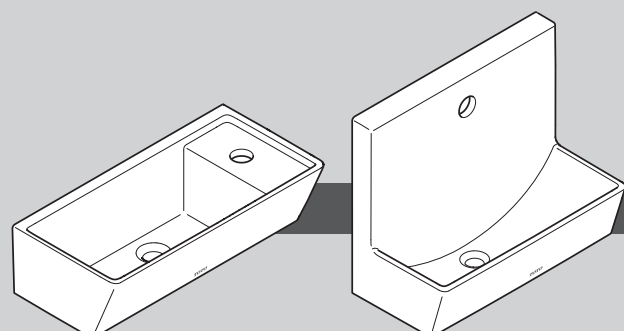
※手洗器の種類で手順が異なります。

手洗器、各手順について



ベッセルタイプ (丸形) の場合

1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 6 ▶ 7



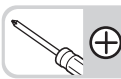
ベッセルタイプ (角形) / ハイバックタイプ の場合

1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6

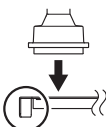
1 排水ソケットの組み付け

十字穴付座金組込
なべ小ねじ
(M4×12、鉄) (4本)

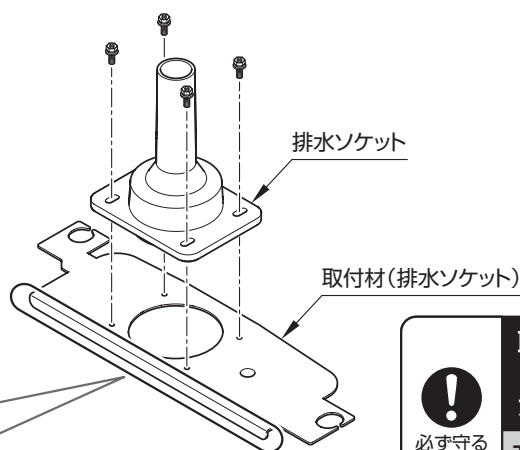
手締めで



取付方向



折り曲げ方向と逆の面に
排水ソケットを取り付ける



※図はベッセルタイプ(角形)の場合



必ず守る

取付後、排水ソケットと取付材
(排水ソケット)の間にすき間が
ないことを確認する

水漏れして家財などをぬらす財産
損害の発生の原因になります。

2 クッション材の張り付け

① 張り付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る

② クッション材のセパレータをはがしながら、下記の位置にクッション材を張り付ける



警告



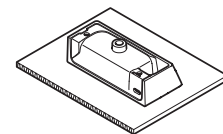
必ず守る

クッション材の張り付けは確実に
水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電
の原因となります。

注意

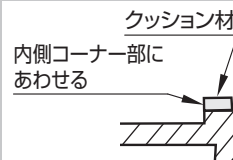
・手洗器上面を下側にする際は、
ダンボールなどを敷く

手洗器に傷が付かないようにして
ください。

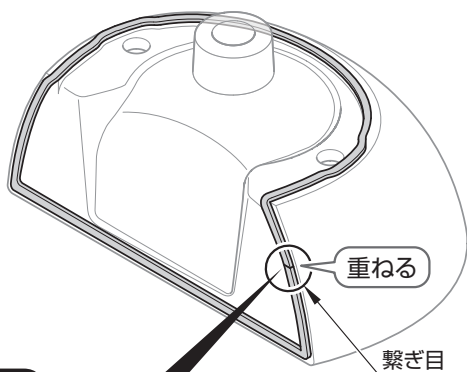


・手洗器の内側コーナー部に
あわせて張り付ける

設置後にクッション材がはみ出す
ことがあります。



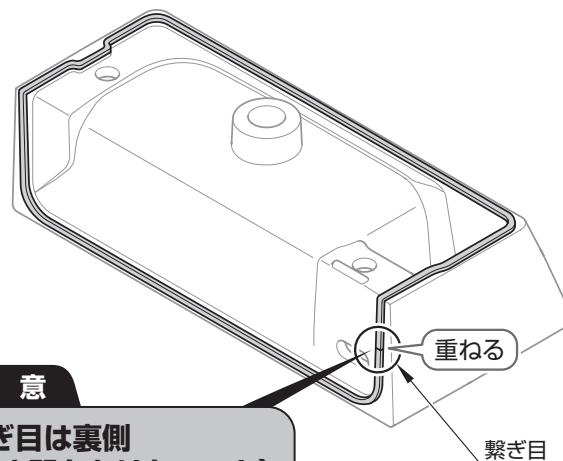
ベッセルタイプ(丸形)の場合



注意

繋ぎ目は裏側
(すき間をあけないこと)

ベッセルタイプ(角形)の場合



注意

繋ぎ目は裏側
(すき間をあけないこと)

ハイバックタイプの場合

手洗器の取り付けの際に張り付けます。(▶P.58)

3 手洗器の組み立て

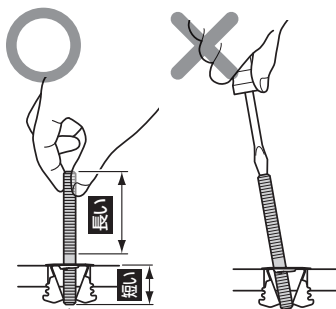
2

【ベッセルタイプ(丸形／角形)の場合】

手締めで

寸切ボルト
(M6×65、鉄)(2本)

【ハイバックタイプの場合】

寸切ボルト
(M6×40、鉄)(2本)

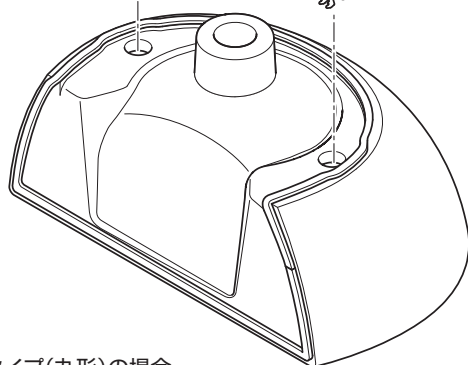
軽く、手でつまんで、入るまで締める

注意

・ボルトをドライバー
で深く締めない

ボルトが斜めに入り、陶器
がカウンターにおさまら
ないことがあります。

・斜めに入ったねじ
を無理に真っ直ぐ
にしない

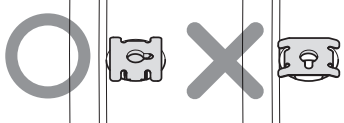
1 クリップナット
(2個)

※図はベッセルタイプ(丸形)の場合

注意

・平らな面にクリップナットを取り付ける

クリップナットが奥まで
入らず、手洗器に適合し
ません。



・陶器とのすき間がなくなるまで、しっかり押し込む

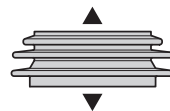
寸切ボルトが途中で
しか入らず、手洗器が
固定できません。



4 パッキン(排水口)の取り付け

手洗器排水口外周の汚れを取り除き、装着する

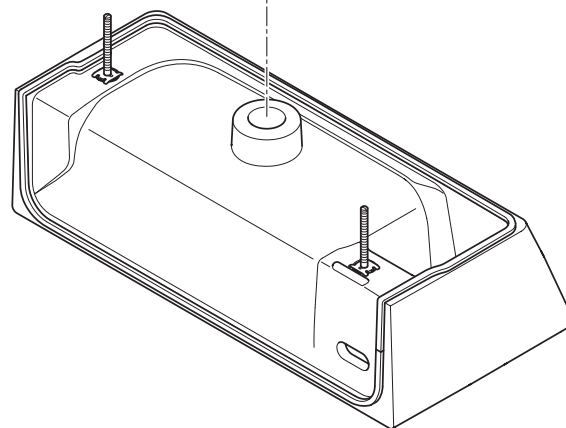
排水ソケット側



手洗器排水口装着側



パッキン(排水口)



※図はベッセルタイプ(角形)の場合

注意



禁止

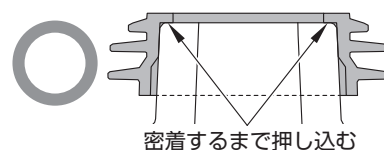
パッキン(排水口)にグリスを使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害
発生の原因となります。



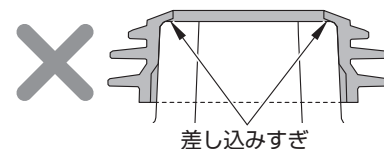
必ず守る

パッキン(排水口)は手洗器排水口に
密着するまで押し込む

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。



密着するまで押し込む



差し込みすぎ

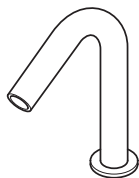
ベッセルタイプ (角形) / ハイバックタイプの場合

5 水栓金具の取り付け

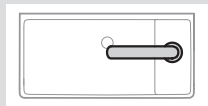
ベッセルタイプ (角形) の場合

【自動水栓の場合】

参照 自動水栓の施工説明書を参照してください。



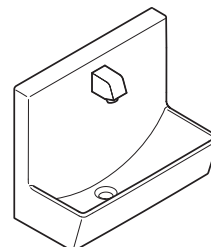
吐水口の向き



ハイバックタイプの場合

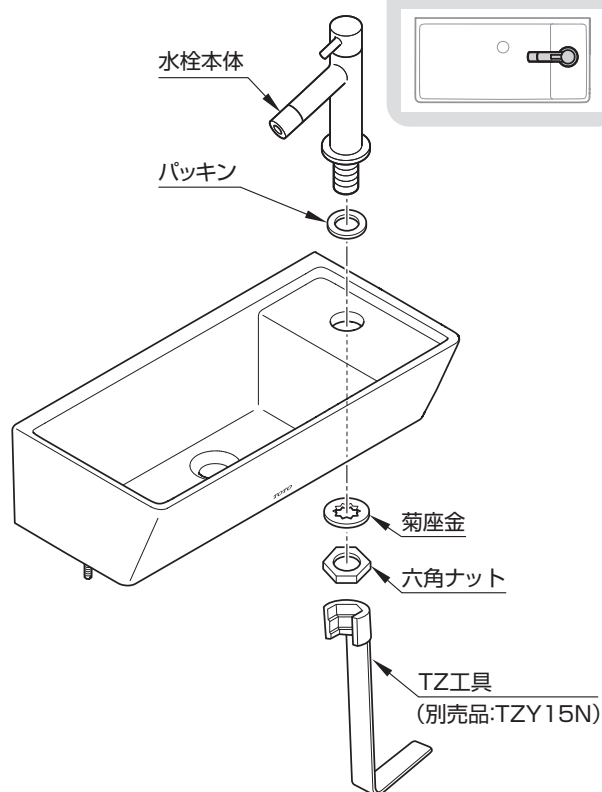
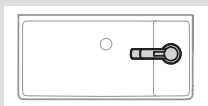
【自動水栓の場合】

※あらかじめ手洗器にセットされています。



【ハンドル式水栓の場合】

吐水口の向き



【ハンドル式水栓の場合】

参照 ハンドル式水栓の施工説明書を参照してください。



ベッセルタイプ (丸形) の場合

手洗器を設置した後に取り付けます。(▶P.59)

注意

- ・水栓本体が動かないことを確認
- ・六角ナットの締め付けにTZ工具を使用すると作業がしやすくなります。



(別売品: TZY15N)

MEMO

6 手洗器の取り付け

ベッセルタイプ (丸形) の場合

注意

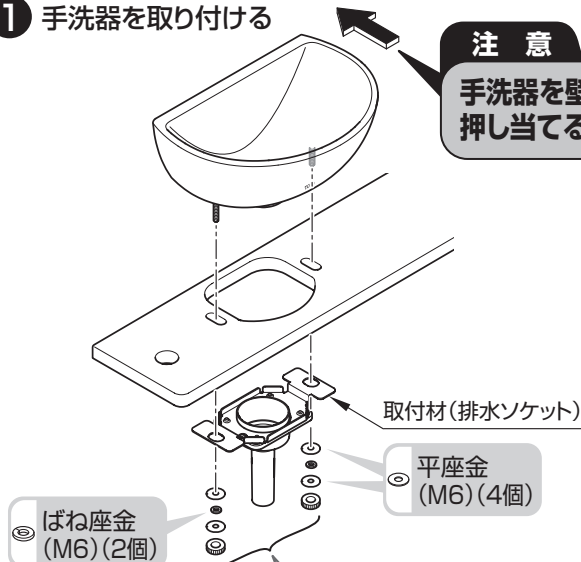
バックパネル(オプション)の取り付けは、
手洗器固定前に行う

参照 バックパネルの施工説明書

1 手洗器を取り付ける

注意

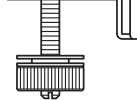
手洗器を壁に
押し当てる



1-1

ボルトの先端が見えるまでローレット
ナットを入れる

ローレットナット
(M6) (2個)



注意



必ず守る

パッキン(排水口)がセットされているこ
とを確認する

水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発
生の原因となります。

1-2

しっかりボルトを締め込む
※締め付け時、陶器との摩擦音
が聞こえることがあります。

1-3

ローレットナットを
しっかり締め付ける

手締めで



注意

- ・ボルトができるだけ真っ直ぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けがで
きれば問題ありません。
- ・ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつき
がないことを確認する

ベッセルタイプ (角形) の場合

注意

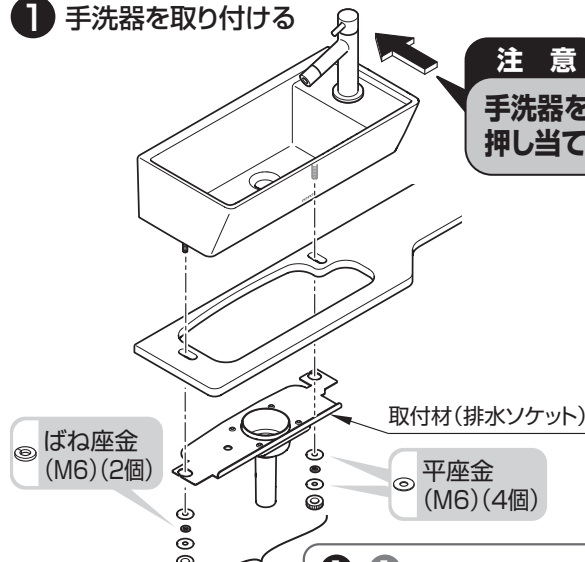
バックパネル(オプション)の取り付けは、
手洗器固定後に行う

参照 バックパネルの施工説明書

1 手洗器を取り付ける

注意

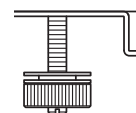
手洗器を壁に
押し当てる



1-1

ボルトの先端が見えるまでローレット
ナットを入れる

ローレットナット
(M6) (2個)



注意



禁止

水栓部分を持たない

給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生の
原因となります。



必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発
生の原因となります。

1-2

しっかりボルトを締め込む
※締め付け時、陶器との摩擦音
が聞こえることがあります。

1-3

ローレットナットを
しっかり締め付ける

手締めで



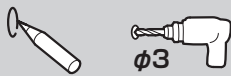
注意

- ・ボルトができるだけ真っ直ぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けがで
きれば問題ありません。
- ・ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつき
がないことを確認する

ハイバックタイプの場合

① 取付材を取り付ける

①-① けがき → 下穴



取付穴位置

①-② 型紙を外す

型紙

取付材

①-③ 十字穴付トラス
タッピンねじ
(4×50)(4本)

ここに合わせる

② クッション材を張り付ける

側板の奥行にあわせてカットし、
側板上部に張り付ける

クッション材

注意

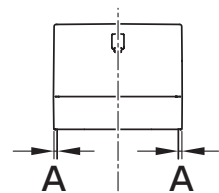
側板からクッション材がはみ出さないようにする

③ 手洗器を取り付ける

③-① 手洗器を取付材に差し込む

注意

手洗器を図のようにあわせる

左右のチリをあわせる。
手洗器とキャビネットの段差
「A」が均等になるようにする。

注意

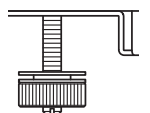
手洗器を壁に
押し当てる

左右の位置を調整

取付材

取付材
(排水ソケット)平座金
(M6)(4個)ばね座金
(M6)(2個)

③-②

ボルトの先端が見えるまでローレット
ナットを入れるローレットナット
(M6)(2個)

! 注意



水栓部分を持たない

給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生の
原因となります。

必ず守る

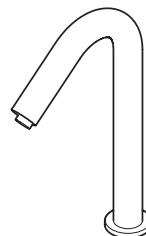
パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

ベッセルタイプ (丸形) の場合

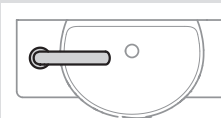
7 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書を参照してください。

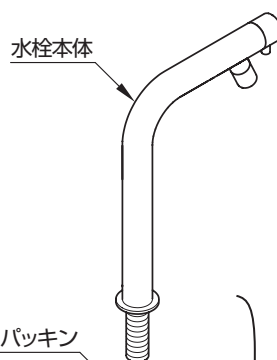
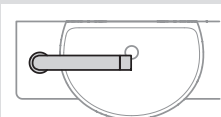


吐水口の向き



ハンドル式水栓の場合

吐水口の向き



水栓本体

パッキン

菊座金

六角ナット

TZ工具
(別売品:TZY15N)

確実に締め付ける

注意

- ・水栓本体が動かないことを確認
- ・六角ナットの締め付けにTZ工具を使用すると作業がしやすくなります。



(別売品:TZY15N)

③-③

しっかりボルトを締め込む
※締め付け時、陶器との摩擦音
がなることがあります。

③-④

ローレットナットを
しっかり締め付ける



手締めで



注意

- ・ボルトができるだけ真っ直ぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けができれば問題ありません。
- ・ローレットナットの締め込み後、必ず陶器にがたつきがないことを確認する

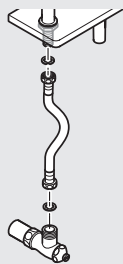
MEMO

9.フレキホース・コントローラー・電気温水器

手洗器なしの場合はP.65へ

ハンドル式水栓の場合

1 フレキホースの取り付け

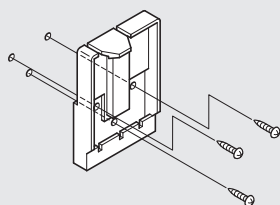


▶P.60 壁給水

▶P.61 床給水

自動水栓の場合

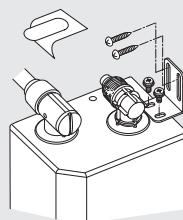
2 コントローラー・機能部・スパウト連結ホースの取り付け



▶P.62

自動水栓(電気温水器付)の場合

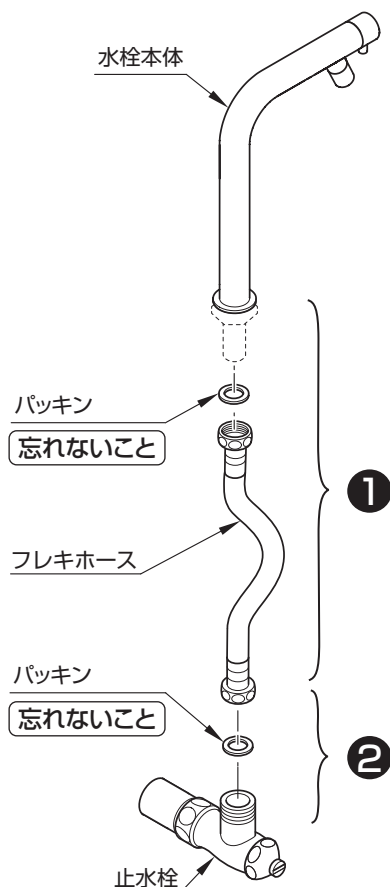
3 電気温水器の取り付け



▶P.63

1 フレキホースの取り付け

ハンドル式水栓(壁給水)の場合



注意



必ず守る

フレキホースを折らない

折れ曲がりによる吐水不良の原因となります。
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

注意

・フレキホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意する

フレキホースの最小曲げ半径は 60mm です。それよりも小さく曲げて使用すると、フレキホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。

・フレキホースを無理に引っ張らない

フレキホースが折れる可能性があります。

・給水管の各接続部は増し締めする

水漏れを確認

